

平成27年(1月～12月)
関東管内の都市ガス事故発生状況
(一般ガス事業・簡易ガス事業)

平成28年4月

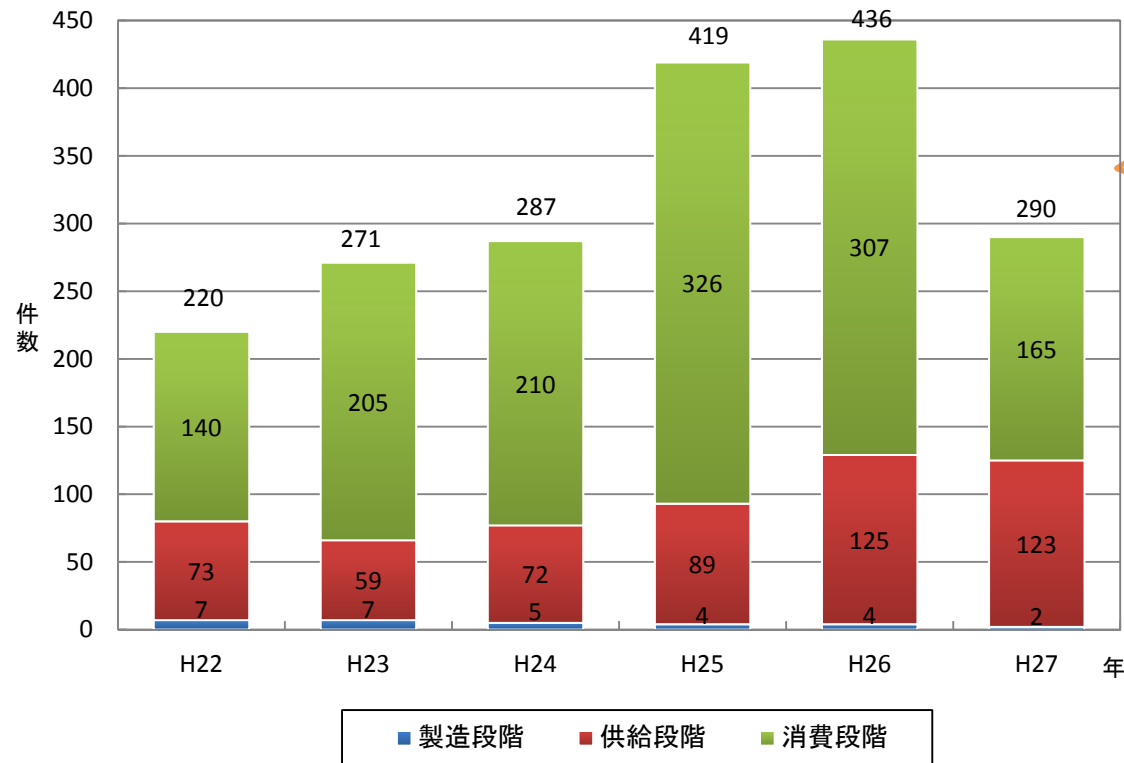
経済産業省
関東東北産業保安監督部
保安課

ガス事業法施行規則第112条第1項の規定に基づき関東東北産業保安監督部長宛てに報告されたガス事故をもとに集計

事故件数の推移(一般ガス・簡易ガス)

- 平成27年(1月～12月)のガス事故件数は290件(前年から146件の減少)。
- 事業別では、一般ガスが277件(95.5%、前年から139件の減少)、簡易ガスが13件(4.5%、前年から7件の減少)。
- 段階別では、製造段階が2件(0.7%)、供給段階が123件(42.4%)、消費段階が165件(56.9%)。
- 近年の事故件数は増加傾向であったが、消費段階の事故は大きく減少している。

■平成22年からの事故件数の推移



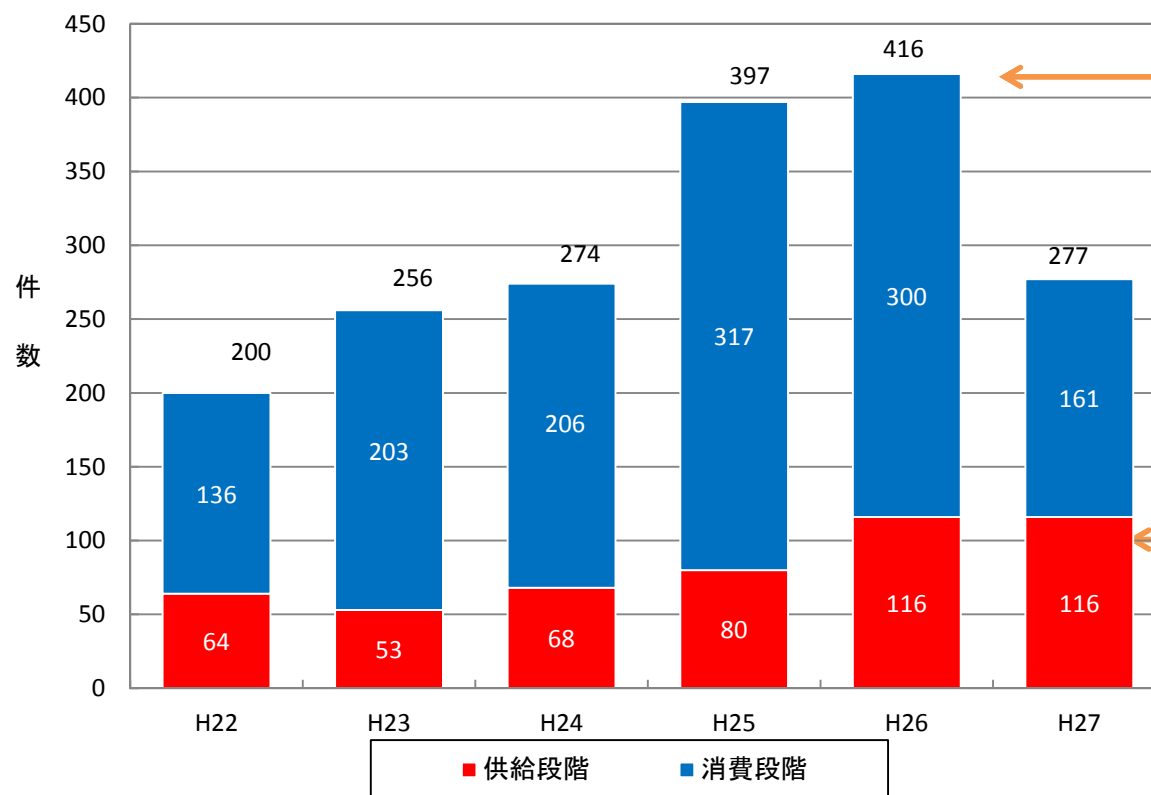
●平成27年の内訳

	一般ガス	簡易ガス
消費段階	161件 (55.5%)	4件 (1.4%)
供給段階	116件 (40.0%)	7件 (2.4%)
製造段階	0件 (0.0%)	2件 (0.7%)

管内ガス事故件数の推移

- 平成27年(1月～12月)の一般ガスのガス事故件数は277件(前年から139件の減少(▲32.7%))。
- このうち、製造段階の事故は0件、供給段階の事故は116件、消費段階の事故は161件。
- 平成22年からの推移では、供給段階の事故は増加傾向にあり、平成26年は平成22年以降初めて100件を超えた。消費段階の事故は平成26年に比べて大きく減少したが、風呂釜・給湯器の変形事故の減少が大きい。

■平成22年からの事故件数の推移



●平成26年の内訳

消費段階	300件 (72.1%)
供給段階	116件 (27.9%)
製造段階	0件 (0%)

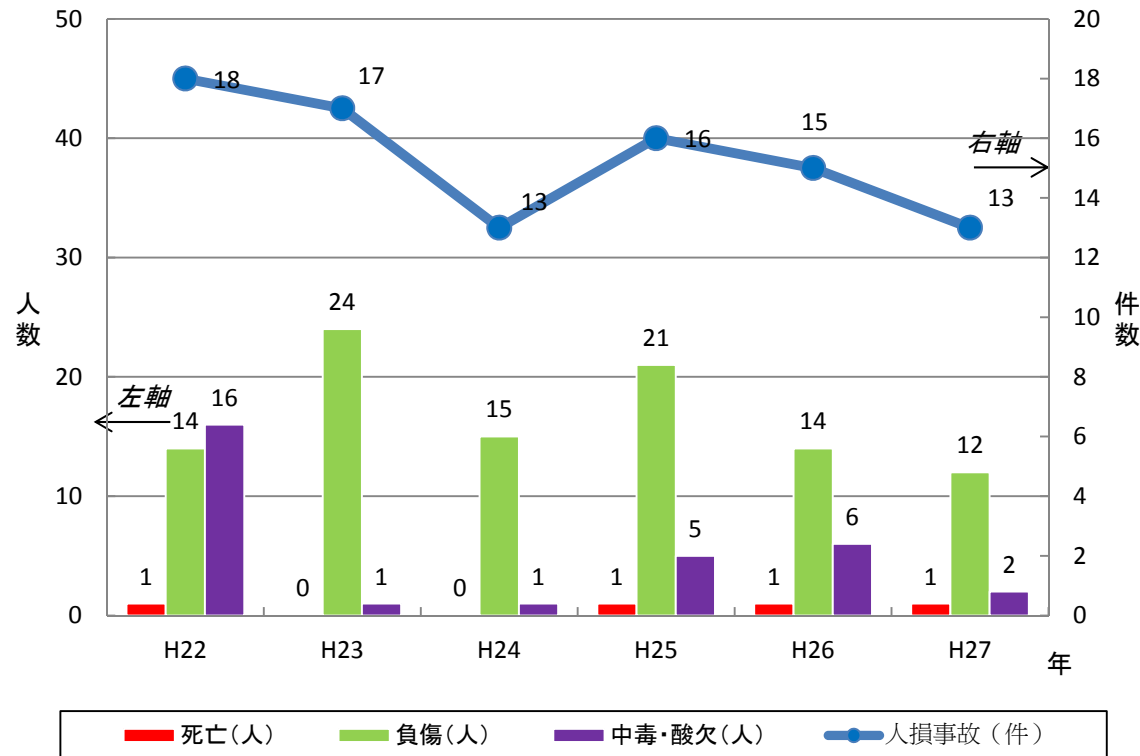
●平成27年の内訳

消費段階	161件 (58.1%)
供給段階	116件 (41.9%)
製造段階	0件 (0%)

人損事故の推移(一般ガス・簡易ガス)

- ▶ 平成27年の人損事故件数は13件、負傷者数は12、ともに前年に比べ減少。
- ▶ 供給段階では、負傷者は前年と同じ。
- ▶ 消費段階では、死者1人の事故が発生したほか、負傷者が前年に比べ減少(9人→7人)、またCO中毒者も前年に比べ減少した(6人→2人)。

■平成22年からの推移



●平成27年の死亡を伴う事故

CF式風呂釜使用によると思われるCO中毒死亡事故(1人死亡)[消費段階]

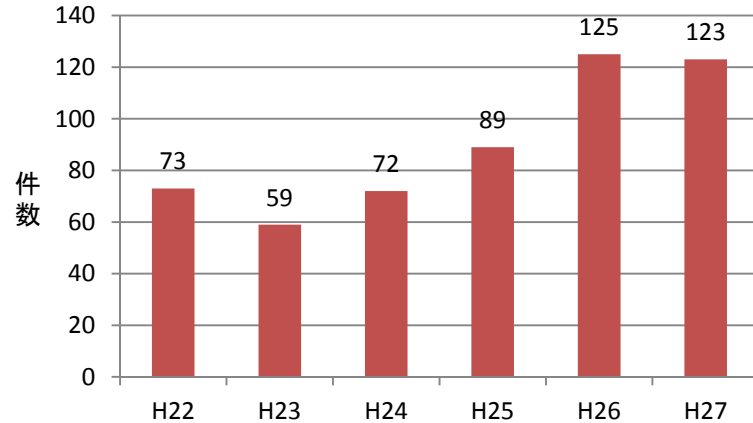
●平成27年の負傷、中毒・酸欠内訳

	負傷(人)	中毒・酸欠(人)
消費段階	7 [9]	2 [6]
供給段階	5 [5]	0 [0]
製造段階	0 [0]	0 [0]

[]内は平成26年の人数

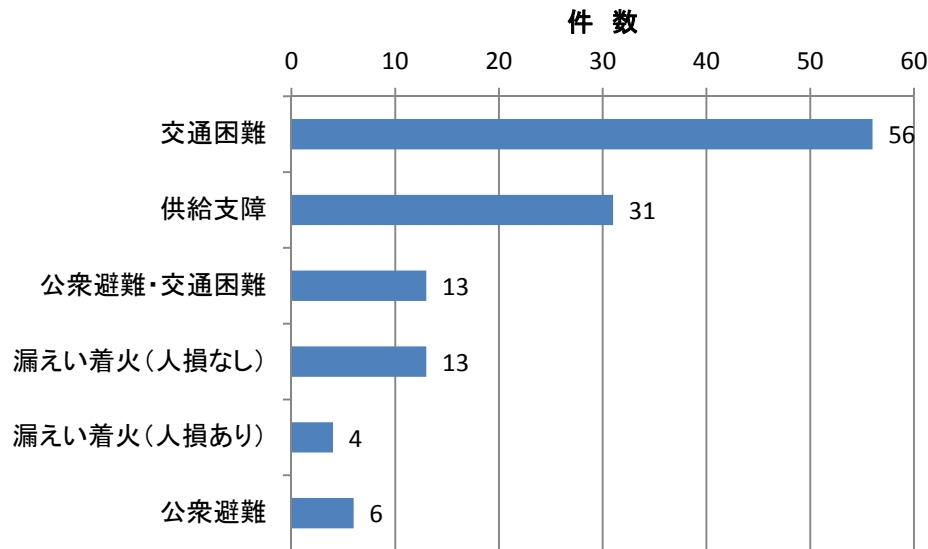
供給段階の事故

供給段階の事故件数推移

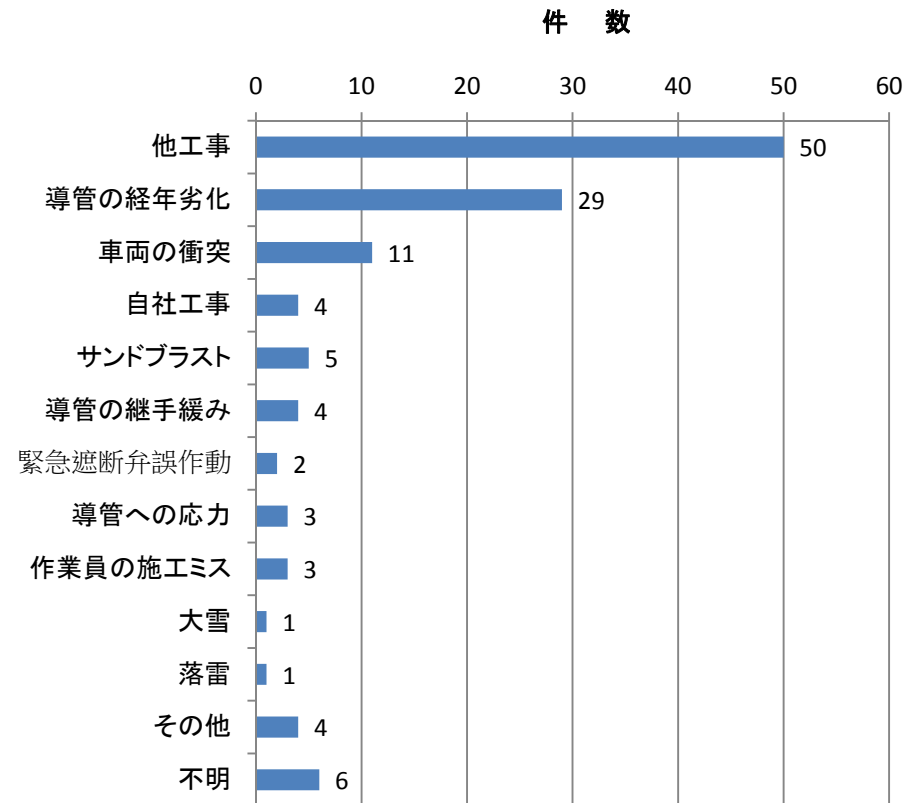


- 事象別内訳では、交通困難が最も多く(45.5%)、次いで供給支障が多い(25.2%)。
- 原因別の内訳では、他工事が最も多く(40.7%)、次いで導管の経年劣化によるものが多い(23.6%)。

■事象別内訳(平成27年:123件)

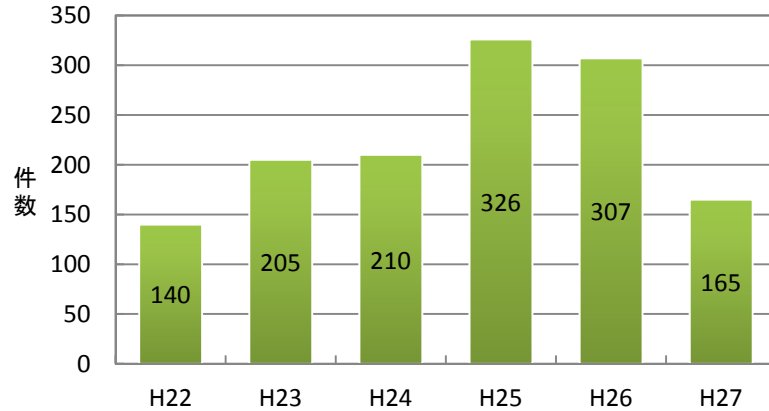


■原因別内訳(平成27年:123件)



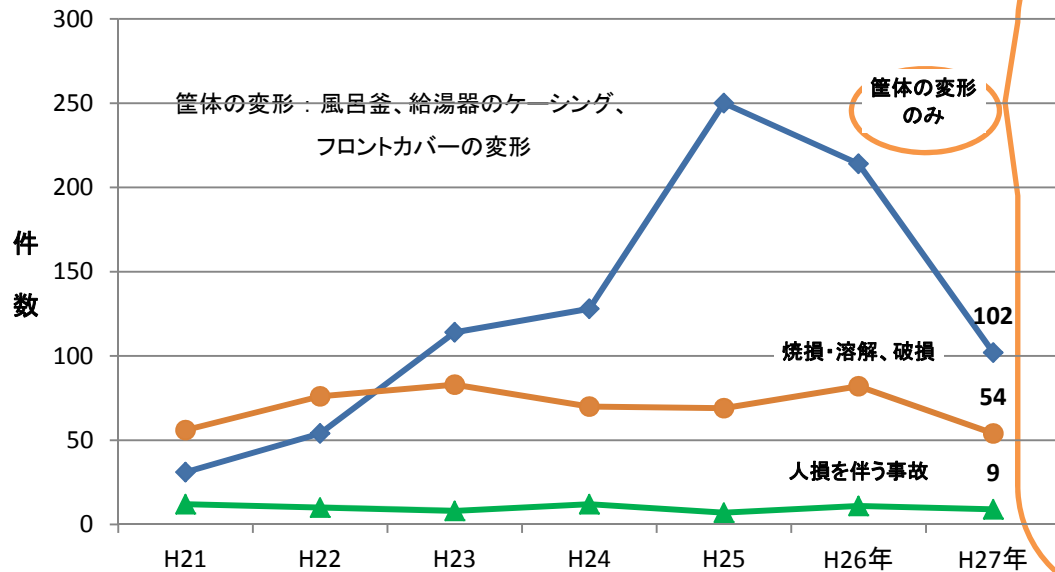
消費段階の事故

消費段階の事故件数推移

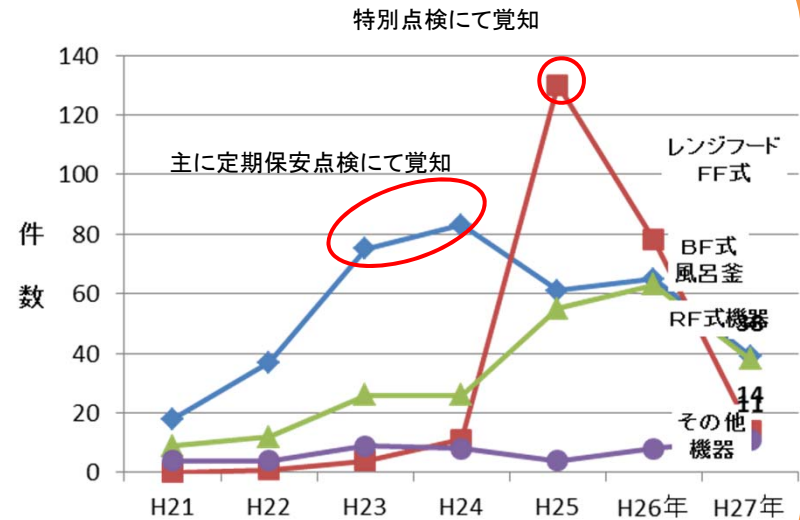


- ここ数年、消費段階の事故件数が増加しているが、この要因は、風呂釜のケーシング変形など異常着火に伴う機器筐体の変形にかかる事故が多く覚知されるようになったことが大きく寄与している。
- 筐体の変形事故は、主に定期保安点検にて覚知されるBF式風呂釜の変形が平成24年にピークを迎え、また、特別点検が行われたレンジフード一体型FF式給湯器の変形が平成25年にピークを迎えたこともあり、平成27年は前年に比べ減少した。

内訳

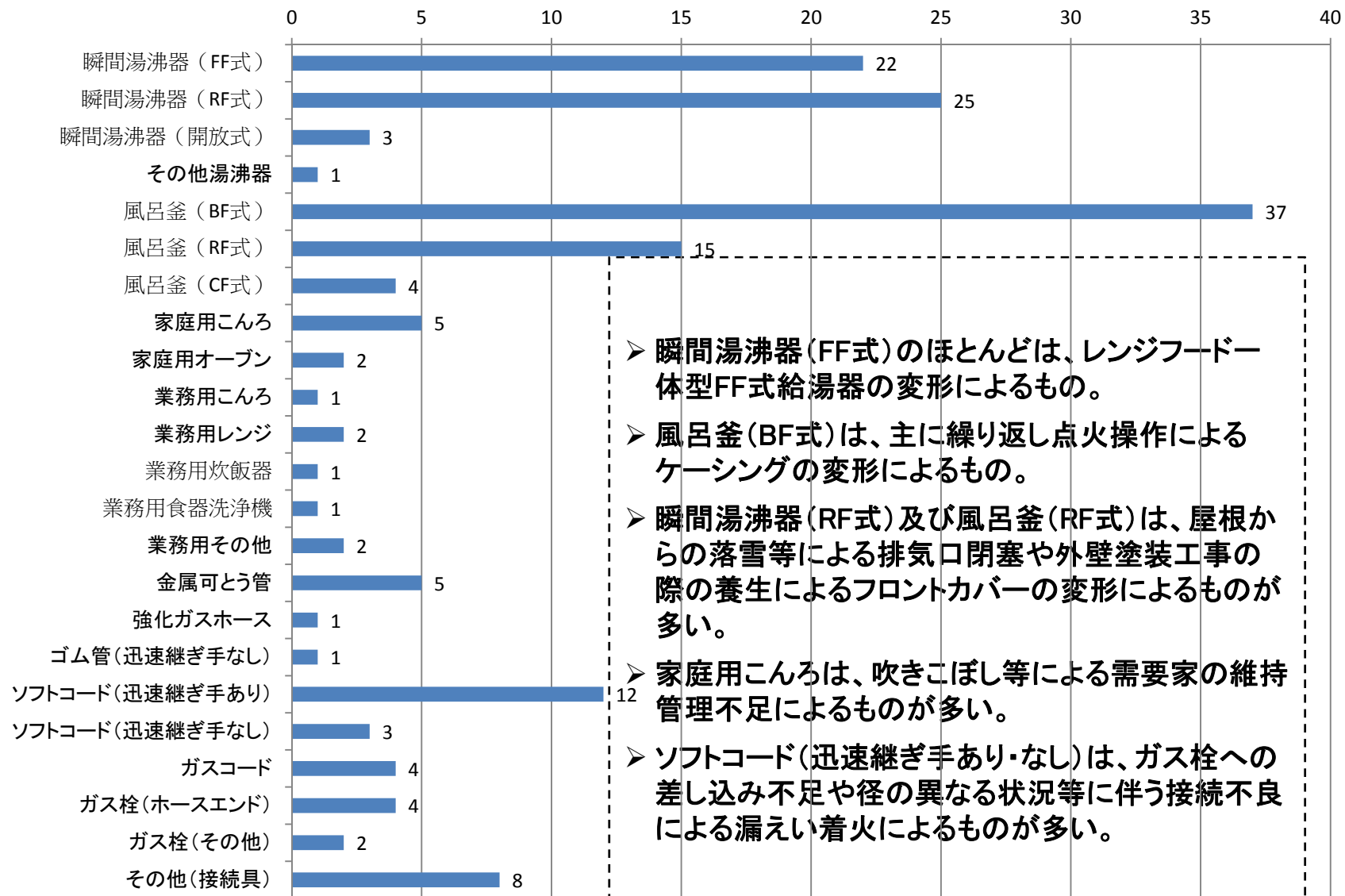


変形機器の内訳



消費段階の事故

■消費機器別内訳(平成27年:165件)

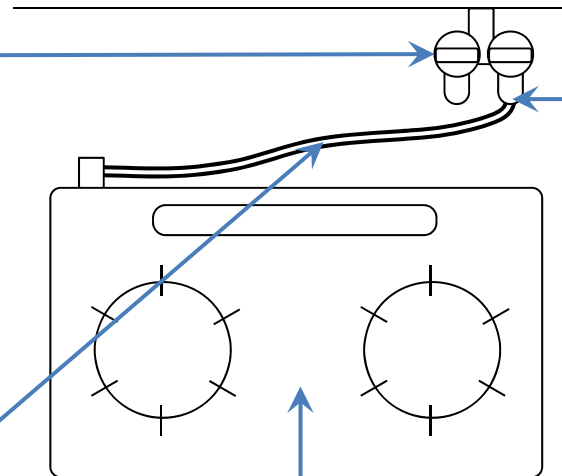


消費段階の事故事例

■ 家庭用こんろ及びその周辺での主な事故事例(平成27年の件数)

✓ 不使用ガス栓の誤開放 (6件)

ガス栓キャップの取り付けが不完全な状態で不使用側のガス栓を誤開放し、過流出安全機構が作動しない程度の微量のガスが漏えいして着火



✓ ガス栓への接続不足 (8件)

ゴム管用ソケットをガス栓に接続する際に、差し込みが不十分であったことから微量のガスが漏えいして着火など



- ・こんろへの接続: 2件
- ・ファンヒーターへの接続: 3件
- ・その他: 1件

✓ ゴム管への熱影響 (1件)

ゴム管がこんろ又はグリルに近接することにより熱影響を受け、ゴム管が損傷したことからガスが漏えいして着火



✓ こんろ内部の焼損 (5件)

こんろ左前脚が欠落して傾き、ガス通路部が長期にわたりコンロ台と接触し、コンロ下の汚れ等により接触箇所の腐食が進行し、ガスが漏えいして着火したことなど

